

南アフリカ、大強任など広域に

日本の製造業のアジアを中心とする海外展開が依然活発だ。中国、ベトナム、インドネシアなどのほかトルコ、南アフリカと広域化しており、合弁会社を通じて生産・販売を拡充する動きが目立つ。現地での生産シフトにより国内物流への影響が懸念される。(北原 秀紀)

現地生産へシフト

中国で大和ハウス工業の壁ハネルの現地生産を開始。グループ会社と現地の総合建設業者が、低層工業化住宅部材の合弁会社を設立。アサヒグループホールディングスのシンガポールとイ

インドネシアにある合弁会社「容器入り飲料水の製造会社」と販売会社を創設。インドネシア市場の本格参入を果たした。

日清食品ホールディングスは、トルコで現地企業と合弁会社を設立。同国では初の即席麺の製造・販売を今月から開始した。

ユニチカトレーディング(竹蔵寛和社長、大阪市中央区)は、衣料用繊維素材や製品の製造・販売を行う新会社をベトナムのハノイ

市に開設した。衣料関連業界では、コストアップなどの

南アフリカのヨハネスブルク市にあるイニストラックサウスアフリカ(ITS&A)の出資比率を引き上げる。拡充する。

大が見込まれる南アフリカでの商用車生産販売事業を

テレマ分野で協業

運管システムを共同運用

堀場製作所 日本ユニシス

堀場製作所と日本ユニシスは17日、車両運行管理・テレマティクス分野で協業し、来月からビッグデータ活用に向けた共同システム運用を開始する、と発表

した。新システム「ホリバブリートリッキング」は、車両に搭載したデジタルタコグラフやドライブレコーダー(DR)から無線を使い、リアルタイムで運行情報をデータセンターに送る新しい運行管理システム。

燃費や急ブレーキ時の映像、車両の動態などを管理する既存システムの機能を

あいち経営コンサルタン(名古屋市中川区)の和田康宏社長が「自動車運送事業の監査方針、行政処分基準等の改正」と題して講演。吉岡社長は「新たな売

三井住友海上火災保険(柄沢康喜社長、東京都千代田区)、日本M&Aセンター、トラボックス(吉岡泰一郎社長、渋谷区)が主催する運送事業者向けセミナー「勝ち残る運送会社とは？」が17日、名古屋市中で開かれた。

曾我社会保険労務士事務所(曾我浩所長、千葉市花見川区)、高山行政書士事務所(高山正孝所長、美浜区)、MS千葉(入谷剛司社長、中央区)は17日、合同のセミナーを企画。曾我所長が労働基準監督署による突然の監督に適切に対応できるよう、長時間

勝ち残り戦略指南

三井住友海上など共催

買収)を活用した経営戦略とは?」をテーマに具体例を交えて解説した。(高橋 朋宏)

健全経営むけ合同ゼミ

曾我社労士事務所

物流施設 曾我社労士事務所

テナント仲介、絶対的自信

「リーシング(テナント仲介)のノウハウに絶対的自信がある。我々の存在価値は一段と高まっており、ビジネスチャンスは確実に増えている。物流不動産の仲介事業を展開しているディールエージェント(東都中央区)の楳西一太社長は「リテナント需要に



ディールエージェント社長

楳西 一太さん

「リテナント需要に比べてこそ、投資案件は初めて成功したと言える」と楳西社長

ワンストップで情報提供

新規開発物件が「ほぼ埋まっているのは事実」と指摘しつつも、「これまでたまたまだったニーズがまとめてはけている側面はある」との意見を示す。物流の適地は限られるため地価高騰を招いているほか、建築費の値上がりも避けられない。当初の想定よりもコストアップとなり、「貸主の要求する賃料は上昇傾向にある」と現状を分析。「建築費が3か月、半

戦すると予想。空室が続く物件では、賃料を下げてテナントを募集するケースが期化していることを例に、「リテナント需要に比べてこそ、投資案件は初めて成功したと言える」と強調。日頃の営業で培った人脈を動員し、「3300平方メートルや6600平方メートルといったテナントのニーズでも役に立ちたい」と訴える。「これまで顧客ニーズを掘り、迅速・適切に対応している。内覧会の主催も請け負っている。また、今月末をメドにインターネットによる完全会員制の物流

「借りる側もブレイヤー各社と交渉するのは大変。全社と窓口を持つ当社は、

「DBJがインク認の評価ラングがなされる。ドライバーのド・ソフ

「DBJがインク認の評価ラングがなされる。ドライバーのド・ソフ



株式週間高低

10月15日~10月18日

Table with columns for stock indices (陸, 運, 倉庫・運輸, 海) and various metrics (安値, 終値, 年初来, 高値, 安値, PER, 利回り, 売買高) for dates 10/15 to 10/18.